2011年4月19日

【報道発表資料】

国立大学法人 東京大学
東大グリーンICTプロジェクト

東大グリーン ICT プロジェクトが中国と通信規格 IEEE1888 に関する MOU を締結
~総務省ユビキタス・アライアンス・プロジェクトによる日中協働の取り組み~

国立大学法人東京大学（総長：濱田 純一、以下東京大学）の東大グリーン ICT プロジェクト(*1) （代表：江崎 浩、以下 GUTP）は、東日本大震災の影響による電力危機に際して、東京大学災害対策本部電力危機対策チームに協力して、電力節減に取り組んでおります。この度、GUTP は、兼ねてより日中で協働した成果として国際標準化された通信規格 IEEE1888 による電力節減取り組みをより包括的に進めるため、中国の次世代インターネット産業協議会（代表：北京インターネット研究所所長 劉東氏）と、MOU（覚書）を締結しました。

通信規格 IEEE1888 は、2011 年 2 月 2 日に正式に承認された「スマート・コミュニティ」や「ビルエネルギー管理システム（以下、BEMS）」など向けのオープンな国際標準規格です。電力節減に貢献する本設計には、GUTP が、総務省ユビキタス・アライアンス・プロジェクトの支援のもとに大きく貢献しております。

今回の締結により、IEEE1888 は日中協働で進めている標準化活動の展開が加速することが期待できます。

GUTP は、今後も電力節減により、地球環境の保全と活動環境の改善を目指すことを目的として、産官学が協力し、研究開発活動をいたします。

MOU 締結時の写真
（左から江崎浩教授、山川鉄郎 総務審議官、北京インターネット研究所 所長 劉 東氏）

(*1) 東大グリーン ICT プロジェクト（代表：江崎浩，http://www.gutp.jp/ ）
国立大学法人東京大学（総長：濱田　純一、以下東京大学）が、2008 年 6 月 9 日に大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授を代表として、IPv6 普及・高度化推進協議会と協力して発足させたグリーン東大工学部プロジェクトを、2010 年 4 月 1 日に全学の活動として再組織した。
東京大学本郷地区の工学部新 2 号館（2005 年竣工 地上 12 階 総合研究教育棟）をモデル的な舞台として、個別に運用管理されていた施設の設備制御管理システムを相互接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、IT による省エネと IT 環境自体の省エネの両立を実証する。設立発起人（詳細は、「発起人・組織リスト: http://www.gutp.jp/members/」を参照)を中心に、技術規格標準化関連団体、建設会社、建設設計事務所、ハードウエア･ソフトウエアベンダー、インテグレーター、通信事業者などファシリティーの企画・設計・構築・運用に関連する関連組織からの参加の下、データ取得方法・表現形式などの標準化やファシリティーの運用管理効率の向上などをはじめとして、省エネ実現のモデルケース確立などに取り組んでいる。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
東大グリーンＩＣＴプロジェクト発起人代表
（旧名：グリーン東大工学部プロジェクト発起人代表）
東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

東大グリーンICTプロジェクト事務局
（旧名：グリーン東大工学部プロジェクト事務局）
〒101-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
株式会社三菱総合研究所
担当：中村秀治・吉田薫・橋田理恵